

令和 6 年度 第 3 回恵庭市食育推進協議会 会議録

日 時 : 令和 7 年 2 月 10 日(月)14 時 30 分～15 時 10 分

場 所 : えにあす 2 階 会議室 8

出 席 : (委員) 戸花委員、吉田委員、今野委員、平野委員、田中委員、竹田委員、
伊藤委員、松本委員、滝沢委員、藤野委員、黒氏委員、山野辺委員、
市川委員、上山委員(代理:川城氏)、辰下委員、高橋委員、
五十嵐委員(代理:清水氏)、中山委員

(事務局) 保健福祉部長、保健センター長、保健課長、
保健課健康推進・食育担当主査、栄養士、歯科衛生士

欠 席 : (委員) 田原委員、島田委員、木幡委員、亀石委員

傍 聴 : なし

1. 開会

・保健課長

会議の出席は委員総数 22 名中 18 名であり、恵庭市食育推進協議会設置要綱第 5 条の規定により成立。委員の変更について報告。

・(株)久原本家北海道より情報提供

幼稚園・小中高校生対象の「だし教室」について【別紙】

2. 議題

会長の進行により、議事の審議が進められた。審議内容は次のとおり。

(1) 第4次恵庭市食育推進計画(案)について

・事務局より、【資料1-1、1-2】をもとに「パブリックコメント実施報告」及び「第4次恵庭市食育推進計画(案)」について説明。

内容:(1)「第4次恵庭市食育推進計画(案)」に対するパブリックコメントを募集した結果、意見は0件。

(2)「第4次恵庭市食育推進計画(案)」について全会一致で承認を得た。

【意見・質問等】

○竹田委員: 計画の中には、子どもたちの世代に働きかける内容が多くあると思うので、将来にわたる食育の要として学校でも子供たちに食の大切さ、また恵庭の風土の良さが伝わっていくような取組が各校で行われていくように働きかけていきたい。

○中山委員：恵庭市の生ごみ排出量が減っている。要因の分析ができていないが、中食や宅配、配食サービスなどを利用する高齢者が増えているのではないかと想像する。計画の中で、高齢者の「孤食」など見通している部分はあるのか。

○事務局：計画では、「分野2 食をととして人を育む」の中にある基本的な施策の「コミュニケーションを通じた共食の推進」が「孤食」の対策の一つにあたる。

○田中会長：生ごみはどのくらい減っているのか。

○中山委員：家庭用生ごみは年度毎 10%近く減少。独居高齢者が増えて中食やテイクアウトの利用が増えているのではないかと想像はしているが、実態が見えてこないなので、把握している団体があれば教えてほしい。

○田中会長：テイクアウト・中食の利用は増えているのか、商工関係の方は情報があるか。

○川城氏(上山委員代理)：(そのような情報はないが)行政が企業の取り組みを支援していくことが食育推進に好影響を与えるのではないかと。

○今野委員：飲食店からの情報によると、テイクアウトは増加している状況。

○松本委員：ワーカーズコープでは赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代がかかわる事業を行っている。小中学生を対象にした「生活学習支援事業」、「子ども食堂」や「食の提供を通しての就労支援(就労支援 B 型はっぴーjob)」、「安心安全な野菜づくり」、「子育て世代のランチ会」など食を中心としたコミュニティーづくりが「孤食」の解消にも繋がっている。

○田中会長：(【資料 1-2】P32「北海道文教大学食育アイドルプロジェクト」追記に関する補足)本取組は、国の健康増進計画である「健康日本21(第3次)」の健康に関心が薄い層へのアプローチとしても当てはまる。

(2)その他

・事務局より今後の協議会スケジュールについて説明。

次回、令和7年度第1回食育推進協議会は令和7年7月頃に開催予定。

全体を通して【意見・質問等】

○特になし

3.閉会

保健福祉部長より挨拶。